

中学英語で
ほとんど通じちゃう

ミラクル3分 英会話

English is very fun and easy!

英語学習サロン
NOBU Connect 主宰 **山田暢彦**



人気英語コーチの
超入門レッスン

日常会話で使えるカンタン英文を

聞いて→読むだけで
英語がイッキにうまくなる!



生きた英語が聞ける「ネイティブ英会話」音声
中学の基礎文法を学び直す「おさらいテスト」

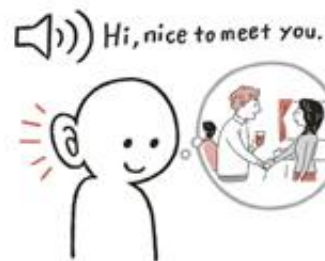
定価 本体 **880**円 + 税

わずか3分の英会話レッスンで あなたの英語はどんどん上達する!

英語の参考書や英会話本を単に読んだだけでは、英語力はつきません。
あなたの英語力を効果的に高めるには、正しいトレーニングの手順と方法を知ることが近道です。本書で紹介する英会話レッスンは、3つのステップで構成してあります。この方法であなたの英語力の反射神経が効率良く鍛えられ、着実にレベルアップします。

聞く

1 イラストを見ながら
会話の音声を聞く



まずは英文は見ないで、音声だけを聞いて会話の内容を想像しましょう。

一語一語すべてを聞き取ろうとしなくても良いので、全体の流れをつかむようにして聞きます。本書では、すべての英文にイメージイラストがついています。イラストを見ながら音声を聞いて、会話の内容を想像してみましょう。同じ英文をリピートで2~3回聞くのが効果的です。

読む

2 英文と日本語訳を
理解して英文を音読する



英文と日本語訳を読んで会話の意味を理解します。特に音声が聞き取れなかった箇所をしっかりと確認しましょう。

会話の内容を理解したら、次に英文を音読します。音声の発音をまねて、英語の抑揚（音の高低）やリズム（音の長短）を意識しながら読むのがコツです。うまく読めるようになるまで、何度か繰り返して音読することをオススメします。

こんな人にオススメ

- もう一度中学レベルから英語を学び直したい人
- 英会話の勉強を何からはじめて良いかわからない人
- 英語で話そうとすると、フリーズしてしまう人
- ネイティブの話している英語が速すぎて聞き取れない人

①~③
の手順で

3分

学ぶ

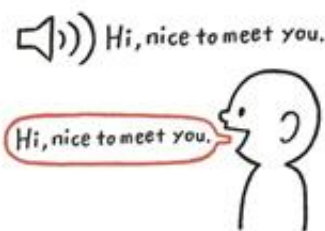
中学英語の基礎文法を
学び直すことで
英語表現の幅が広がる!

各レッスンの会話の中でキーフレーズとなっている英文のポイントを学びます。「英文を会話の中で正しく使いこなせるようになるために基礎英文法の知識を学び直し、重要なポイントの理解を深めましょう。」

さらに、ダウンロード特典の「おさらいテスト」で復習すると日常会話やビジネス会話の基本が身につく、表現の幅がぐんと広がります。

※「おさらいテスト」のダウンロードの方法は、12ページで紹介しています。

3 英文を見ないで
シャドーイング



最後は、テキストを見ないで、音声をあと追いつくように声に出して復唱します。このトレーニングを「シャドーイング」といいます。

英語の音声のあとに「影」のようについて発音するため、このように名づけられています。少し難しいですが、英会話に必要な「聞く」「話す」の脳発力が着実に身につく効果的なトレーニング法です。

久しぶりに英語の学習をはじめの皆さんへ	2
わずか3分の英会話レッスンであなたの英語はどんどん上達する！	4
本書の構成と特長	6
「ネイティブ英会話」音声＆「おさらいテスト」ダウンロードの方法	12

STEP1 自分のことを紹介するための英会話レッスン

Lesson 1-1	初対面の相手に自己紹介をする	14
Lesson 1-2	共通の友人について話を	16
Lesson 2-1	自分の職業について話す	18
Lesson 2-2	仕事の業務内容について話す	20
Lesson 3-1	自分の家族について話す	22
Lesson 3-2	初対面の相手に家族を紹介する	24
Lesson 4-1	自分の出身地について話す	26
Lesson 4-2	出身地の特徴について話す	28
Lesson 5-1	自分の趣味について話す	30
Lesson 5-2	趣味について具体的に話す	32
Lesson 6-1	自分の好きな人物について話す	36
Lesson 6-2	その人物が好きな理由について話す	38
Lesson 7-1	自分の好きな物事について話す	40
Lesson 7-2	好きな物事のお気に入りポイントを話す	42
Lesson 8-1	昔からずっとやっていることについて話す	44
Lesson 8-2	興味があることについて話す	46
Special Lesson	be 動詞と一般動詞	34
Column	バイリンガルの夢の中は英語？ 日本語？	48



STEP2 相手のことを知るための英会話レッスン

Lesson 9-1	挨拶してから話しかける	50
Lesson 9-2	困っている人に話しかけてみる	52
Lesson 9-3	相手の感想や印象について尋ねる	54
Lesson 10-1	相手の仕事について尋ねる	56
Lesson 10-2	相手の仕事について詳しく尋ねる	58
Lesson 11-1	相手の家族について尋ねる	60
Lesson 11-2	相手の家族の職業について尋ねる	62
Lesson 12-1	相手の出身地について尋ねる	66
Lesson 12-2	出身地のオススメについて尋ねる	68
Lesson 13-1	相手の趣味について尋ねる	70
Lesson 13-2	趣味を続けている期間を尋ねる	72
Lesson 14-1	相手の好きな人物について尋ねる	74
Lesson 14-2	相手の好きな人物について詳しく尋ねる	76
Lesson 15-1	相手の好きな物事について尋ねる	78
Lesson 15-2	相手がしたことがあるかどうかを尋ねる	80
Special Lesson	疑問文には2種類ある	64
Column	英語のことわざ	82





STEP3 自分の気持ちや要望を伝えるための英会話レッスン

Lesson 16-1	両替をする	84
Lesson 16-2	目的地への行き方を尋ねる	86
Lesson 16-3	ホテルでオススメの場所を尋ねる	88
Lesson 17-1	タクシーで目的地を伝える	90
Lesson 17-2	タクシーで目的地までの料金を尋ねる	92
Lesson 18-1	レストランで人数を伝える	94
Lesson 18-2	レストランで人気メニューを尋ねる	96
Lesson 18-3	レストランで好きなものを注文する	98
Lesson 18-4	レストランでトラブルに対応する	100
Lesson 19-1	劇場でチケットを購入する	102
Lesson 19-2	してもいいかどうかを確認する	104
Lesson 20-1	試着室で違う色やサイズの服を頼む	106
Lesson 20-2	買い物でディスカウントの交渉をする	108
Lesson 20-3	買い物で数や量を増やせないか交渉する	110
Lesson 21-1	知らない人に道案内をする	114
Lesson 21-2	目的地まで実際に連れて行く	116

Special Lesson 日本人が使いがちな「失礼な英語」 112

Column 会話でよく使う不規則動詞 118



STEP4 相手との関係をもっと深めるための英会話レッスン

Lesson 22-1	挨拶を使い分ける（出会いの挨拶）	120
Lesson 22-2	挨拶を使い分ける（久しぶりに会った場合）	122
Lesson 22-3	挨拶を使い分ける（別れの挨拶）	124
Lesson 23-1	自分が過去にしたことについて話す	126
Lesson 23-2	自分の感想などについて話す	128
Lesson 23-3	起こった出来事について話す	130
Lesson 23-4	自分の予定や計画について話す	132
Lesson 24-1	心から喜ぶ、祝福する	134
Lesson 24-2	心から同情する、励ます	136
Lesson 24-3	心からお礼を言う	138
Lesson 24-4	心からお詫びする	140
Lesson 25-1	相手を食事に誘う	144
Lesson 25-2	食事についてのリクエストを尋ねる	146
Lesson 25-3	食後にお別れの挨拶をする	148
Lesson 26-1	自宅にゲストを招き入れる	150
Lesson 26-2	自宅でゲストをもてなす	152
Lesson 27-1	相手の発言を聞き返す	154
Lesson 27-2	知らない単語の意味を尋ねる	156
Lesson 27-3	言いよどむ	158

Special Lesson 主語が「I」ばかりになっていませんか？ 142



聞く 取引先との飲み会。隣に座った女性から、趣味について聞かれます。



読む

A: What do you do in your free time?

B: I like to travel.

A: Oh, me too. Where have you been to?

A: 趣味は何ですか？

B: 旅行するのが好きです

A: あ、私もです。これまでどこに行ったことがありますか？

英語で伝えるコツ



My hobby is ～. では固すぎる

趣味を伝えるとき、日本語では「趣味は旅行です」という言い方をすることが多いですね。英語の場合には、「旅行するのが好きです」という言い回しをします。学校で習う *My hobby is ～*. 「私の趣味は～です」はやや固く、どこか大げさな印象になってしまいます。I like to ～. とさりりと趣味を伝えるのが、英語ではスマートです。

学ぶ

キーワードのポイント解説

I like to travel.

to + 動詞の原形 → 不定詞「～すること」

「誰が、どうする」→「何を」のリズムでカタマリを組み立てる

不定詞〈to + 動詞の原形〉で「～すること」を表す用法

「～することが好き」は、英語では〈I like to + 動詞の原形〉の形で表します。

like のあとに使われている〈to + 動詞の原形〉のカタマリは、不定詞と呼ばれる形です。不定詞にはいくつか使い方がありますが、ここでは「～すること」という意味を表します。I like to travel. の場合、I like 「私は好き」→ to travel 「旅行することが」のように読み取りましょう。I like to go for a drive. なら、I like 「私は好き」→ to go for a drive 「ドライブに行くことが」です。「誰が、どうする」→「何を」のリズムで、前から順番にカタマリで理解することが大事です。

「料理することが好き (=料理が好き)」なら I like to cook.、「映画を観ることが好き (=映画鑑賞が好き)」なら I like to watch movies. です。

表現力 Up!!

趣味を表すフレーズ (I like to ～. の形で使ってみよう)

- のんびり散歩する take long walks
- ガーデニングをする work on my garden
- ゴルフ [テニス] をする play golf [tennis]
- 音楽を聴く listen to music
- ピアノを弾く play the piano
- 英語の勉強をする study English
- ドライブに行く go for a drive
- カフェ巡りをする go to different cafés
- おいしいワインを飲む drink good wine

疑問文には2種類ある

疑問文には、大きく2種類があります。①ふつうの疑問文と、②疑問詞ではじまる疑問文です。その作り方の基本をおさらいしましょう。

① ふつうの疑問文

日本語は「～します」→「～しますか?」のように文末を変えることで疑問文を作りますね。一方で、英語の場合は、文頭を変えます。

be 動詞の疑問文

be 動詞を前に出すと疑問文になります。つまり、Are you ~? や Is he ~? のように、(be 動詞→主語)の語順にします。

You **are** from Canada.

(あなたはカナダ出身です)

Are you from Canada?

(あなたはカナダ出身ですか?)

This soup **is** good.

(このスープはおいしいです)

Is this soup good?

(このスープはおいしいですか?)

一般動詞の疑問文

do / does を文頭に置くと疑問文になります。

You work at an Internet company.

(あなたはインターネット会社に勤めています)

Do you work at an Internet company?

(あなたはインターネット会社に勤めていますか?)

Tom plays the guitar.

(トムはギターを弾きます)

Does Tom play the guitar?

(トムはギターを弾きますか?)

* 主語が「三人称単数」の場合は、do の代わりに does を使います。また、動詞は必ず原形(もとの形)にします。

② 疑問詞ではじまる疑問文

「出身はどこですか?」「何の楽器を弾くのですか?」のように、「どこ?」「何?」などと具体的に尋ねたい場合は、疑問詞で文をはじめます。

次の8つの疑問詞を使って、様々なことを尋ねることができます。

What 何、何の～

Where どこで、どこに

Which どれ、どの～

When いつ

Who 誰

Why なぜ

Whose 誰の～

How どう、どのくらい
どうやって

疑問詞ではじまる疑問文は、その名の通り、疑問詞で文をはじめます。そのあとは、ふつうの疑問文を続けます。

疑問詞+be 動詞の疑問文

What is your name?

あなたの名前は**何**ですか?

How are you?

あなたは**どう**ですか? (=元気ですか?)

When is your birthday?

あなたの誕生日は**いつ**ですか?

疑問詞+一般動詞の疑問文

What do you do?

(お仕事は)**何**をしているのですか?

Where do you live?

どこに住んでいるのですか?

How do you spell the word?

その単語は**どう**やってつづるのですか?

聞く 悩んだ末にメニューが決定。店員に注文を伝えます。



読む

A: Are you ready to order?

B: Yes. **Can I have the grilled steak?**

A: Sure. Anything else?

B: I'll have the onion soup, too.

A: ご注文をお伺いします

B: グリルステーキをください

A: かしこまりました。他に何かございますか?

B: あと、オニオンスープもいただきます

英語で伝えるコツ



問いかける形で頼むと好印象に

「please をつけば丁寧」と思って **Grilled steak, please.** のように注文する人がいますが、これは必要最小限のことを伝えているだけで、「相手とコミュニケーションを取ろう」という気持ちがほとんど感じられず、活発な会話を楽しむ英語圏の人には冷たい印象を与えてしまいます。会話例のように相手に問いかける形で頼むのがポイントです。

学ぶ

キーワードのポイント解説

Can I have the grilled steak?

過去分詞「~された」

Can I have ~? は
注文するときの定番フレーズ

過去分詞「~された、~されている」を用いて名詞を修飾

grilled steak の grilled は、動詞 grill に -ed をつけて過去分詞にした語です。過去分詞は「~された、~されている」という意味を表します。fried chicken 「揚げられたチキン (→フライドチキン、唐揚げ)」、sautéed onions 「ソテーされた玉ねぎ (→玉ねぎの炒めもの)」、mashed potato 「すりつぶされたジャガイモ (→マッシュポテト)」のように、過去分詞は料理名によく見られます。

また、**Can I have ~?** は「~をいただけますか?」→「~をください」という意味で、注文するときの定番フレーズです。

1行目の Are you ready to order? も「ご注文をお伺いします」という意味の決まった表現ですので、このままの形で覚えておきましょう。

表現力 Up!!

注文するときの Can I have ~? をマスターしよう

- ラザニアをください。 Can I have the lasagna?
- 赤ワインをください。 Can I have red wine?
- コーヒーのおかわりをください。 Can I have another cup of coffee?
- フォークをください。 Can I have a fork?
- ドリンクメニューをください。 Can I have the drink menu?

店員さんとは
どんどん積極的に
話してみよう!

